

トピックス topics

第31号  
H25.12

京	農	業	会	議
	都	だ	よ	り

発行 京都府農業会議  
〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 京都府庁西別館内  
Tel:075(441)3660

- p1◆施策提案・緊急要望 地域の声を施策へ、系統一丸
- p2◆東海・近畿の女性農業委員が京都に集う！  
市民に身近な農業委員会へ 創意工夫でPR！
- p3◆「農業法人等のビジネスをサポートする動き」
- p4◆会議員等の異動・常任会議だより

# 施策提案 緊急要望

地域の声を施策へ、系統一丸

## 台風18号被害で『緊急要望』

9月16日の台風18号の豪雨、強風は、中丹地域を中心に甚大な被害をもたらしました。これに対し、農業会議では9月25日の常任会議で緊急要望をまとめ、国と府に提出しました。農地・農業用施設の早期復旧のほか、特に、被害を受けた新規就農者の研修・雇用の継続支援などを求めています。

## 平成26年度農林施策への提案を提出

農業会議は農業委員会から寄せられた意見をもとに、平成26年度京都府農林施策への提案を山田啓二知事に提出しました（写真）。



今年度の目玉のひとつは、「明日のむらビジョン1651話し合い運動」の展開。府内1651全集落において、地域農業や集落の活性化方策など話し合いを進めるようなもの。また、来年度「農地中間管理機構」が設置されることをにらみ、農業委員と土地利用調整の支援にあたる「農地利活用推進員」の設置についても提案しました。

## 「全国農業委員会会長代表者集会」に参加

中間管理機構 農業・農村の現場で実効性あるものに！

全国の農業委員会の会長が集う「全国農業委員会会長代表者集会」が12月5日、東京日比谷公会堂で開催され、京都府から7名の会長各位が出席されました。国会の会期末を目前に控え、農地中間管理事業関連など、重要法案の審議が大詰めを迎える中での開催となった今回、集会では「T P P交渉において国会決議の絶対遵守を求める要請」や「基本農政推進のための具体的政策に関する要請決議」を全会一致で採択しました。この後、衆参議員会館を訪れ、地元選出国会議員に対し、T P P交渉において重要品目を関税撤廃の除外対象として死守することや中間管理機構が現場で機能しうる制度とするよう強く要請しました。



**東海・近畿の女性農業委員が京都に集う！  
農委の役割や食育、女性登用の必要性など議論に熱**

11月22日、「ホテルセントノーム京都」において、平成25年度東海・近畿ブロック女性農業委員研修会が開催されました。この研修会は、「全国女性農業委員ネットワーク」のブロック別の活動として、全国農業会議所など関係団体が毎年開催。3回目となる今回は、「きょうと女性農業委員の会」(会長：乾 清絵、京都市農業委員会)が中心となり運営、県域を越えた女性農業委員81名(京都府29名)を含む106名が参加しました。



研修では、女性起業家として全国レベルで活躍の(株)エムスクエア・ラボ代表取締役 加藤百合子氏が、「農業イノベーション」で明るい未来



を！」をテーマに講演。需給のミスマッチなど、農業が抱える様々な課題について、女性経営者としての信条と活動実績を踏まえた知見や提言が披露されました(写真上)。その後のグループ討議では、各自の取組みや課題等について意見交換と全体報告を行いました。盛会裡に研修を終えました。参加者からは、「女性ならではの感性と視点を活かし、今後も活動を果敢に進めて行きたい。」とする多くの感想が寄せられました。

**きょうと女性農業委員の会 一夏以降の活動一**

○女性農業委員研修交流会

・ 8月30日 ホテルセントノーム京都  
講演：「命の源『食』を通じ女性が地域を元気にする！」  
(有)エスアールフードプロデュース 齋藤三映子氏  
グループ討議

○南丹・中丹・丹後ブロック研修交流会

・ 10月30日  
現地研修 綾部市和木町「梅加工施設」  
綾部市陸寄町「古屋集落の栃餅の加工について」

○京都・乙訓・宇治・綴喜・相楽ブロック研修交流会

・ 12月6日  
現地研修 八幡市内「京・流れ橋食彩の会の活動について」  
「アグリビジネスの取り組み状況」

「きょうとの女性農業委員の会」頑張る！  
京都府では、現在、全26農業委員会のうち22の農業委員会で、合計49名の女性が農業委員に就任されています。  
平成19年4月から、府内女性農業委員を会員とする「きょうと女性農業委員の会」が発足。同会を中心に農業委員としての資質向上、農業委員会活動の活性化及び地域農業・農村の発展に寄与することを目的に、委員相互の交流・研鑽をはかる各種の取り組みが進められています。  
今年度は、上記の「東海・近畿ブロック研修会」の開催のほか、府内において、これまで左記の活動に取り組みされました。

**● 市民に身近な農業委員会へ 創意工夫でPR! ●**

各地で収穫祭や産業祭等の催しが行われた11月、農業委員会が地域農業の大切さや農業委員会活動のPRに奮闘しました。

〈京丹波町農業委員会〉

「米の消費を考えよう」

京丹波町の「京丹波・食の祭典」では、農業委員会がブースを出展。米どころ・京丹波と、米食を中心とする規則正しい食事の大切さをPRしました(写真)。

委員らは、早朝から「コシヒカリ」・「キヌヒカリ」・「どんとこい」を炊いて準備し、来場者を対象に食べ競べや米のつかみ取りゲームのほか、農業相談も行いました。

このほか、京都市や精華町、京田辺市でも農業委員が総出で市民に農業の大切さをうったえました。



京の田舎ぐらし・  
ふるさとセンター

## 丹後の「田舎暮らし体感ツアー」で移住促す

### 空き家見学、先輩Iターン者と交流

府内への農村移住を支援する「京の田舎暮らし・ふるさとセンター」(京都府農業会議内)は、12月14～15日、「田舎暮らし体感ツアーin丹後」を開催しました。

今回のツアーのポイントは、宮津市や京丹後市での「空き家の見学」と「先輩Iターン移住者や受入地域住民との交流会」。参加者が全員「農村移住をめざしている人」なので、熱心に見学・交流が行われ盛況でした。

ふるさとセンターでは、今年度、田舎ぐらし支援活動を強化し、南丹・中丹向け「京の田舎ぐらし講座」やホームページ全面リニューアルにも取り組んでいます。農村地域の活性化に向けて、移住希望者の受け入れを希望する農村の情報等があれば、センターまで御連絡ください。



12月14日宮津市。ナガヤカフェ桜山での先輩Iターン移住者との交流

### 農業会議が講座

## 農業法人の組織管理を学ぼう!

法人設立講座とパソコン簿記講座に100名参加!

農業会議は、農業経営の法人化をめざす農業者を対象に、11～12月にかけて「農業法人の設立講座(Ⅰ、Ⅱ)」と「法人会計・パソコン農業簿記講座(南部、北部)」を相次いで開催。府内の集落営農リーダーや認定農業者など、延べ100名が参加しました。

このうち設立講座(Ⅰ)は、農事組合法人ファームにしろいそ(近江八幡市)を現地視察(写真)。ベテランの「頭の中」にあるノウハウを「作業手順マニュアル」で若手オペレーターと共有し、さらに「栽培管理の改善目標」の設定と「作業日報」「機械日報」等の分析により、各現場ごと・作業員ごとに経営改善を図っている先進事例を学びました。

なお、法人会計・パソコン農業簿記講座(北部)は、参加希望者が定員を大幅に超えたため、年度内に追加開催を予定しています。



## 「農業ビジネスをサポートする動き」

### 農林漁業6次化シンポジウムと京都「丹後・食の王国」食の商談会を開催

10月30日(水)、丹後あじわいの郷ハーベストホール(京丹後市 弥栄町)で、企業との商談会が開かれました。主催は京都府農業総合支援センターと京都府丹後広域振興局。

売り手は丹後の農業等関係団体19業者23名と買い手側団体18業者28名、内買い手側は京都市内・大阪府の16団体が参加。

買い手アンケートでは商談成立6件、商談継続見込42件不成立2団体でした。

「生産者の熱い思いを聞いて良かった」「商談時間をもっとほしかった」「大都市の買い手と商談で顔と顔のお付き合いが始まった」など、参加者からは好評でした。

また、京阪神への物流コストなどの課題も話し合われて、農業の6次化の取り組みの前進となりました。



### 会議員等の異動

〈監査委員〉

新 大島 幸雄 (8月28日)  
 旧 宇野 明忠 (6月30日)

〈1号会議員〉

木津川市

再任 辻 清康 (10月1日)

〈農地特別副委員長〉

新 奥田 富和 (9月25日)  
 旧 大島 幸雄 (8月28日)

### 常任会議だより

農地法等諮問案件の審議のほか、次の課題を協議しました。

第381回常任会議 (7月24日)

協議

- ① 第108回総会の運営と提出議案について
- ② 平成26年度京都府農林施策への提案 (骨子メモ)

第382回常任会議 (8月28日)

協議

- ① 平成26年度京都府農林施策への提案について (素案)

第383回常任会議 (9月25日)

協議

- ① 平成26年度京都府農林施策への

提案について (案)

- ② 台風18号に伴う農業被害に関する緊急要望 (案) について

第384回常任会議 (10月23日)

報告

- ① 台風18号災害に係る平成25年度9月補正予算関係事業について

第385回常任会議 (11月27日)

協議

- ① 第25回農業委員統一選挙に向けての対応指針 (案)

【農地法諮問案件の審議件数】

第4条	15件	9、347㎡
第5条	87件	134、132㎡
第18条	1件	16㎡
計	103件	143、496㎡

〈会議員現地調査案件〉

農地法に基づく諮問案件 9件

- ・ 8月9日 (亀岡市)
- ・ 8月13日 (福知山市)
- ・ 8月13日 (向日市)
- ・ 10月9日 (木津川市)
- ・ 10月11日 (京丹後市)
- ・ 10月11日 (福知山市)
- ・ 10月15日 (京丹波町)
- ・ 11月11日 (久御山町)
- ・ 11月14日 (京丹後市)

### 『制度を知らずに加入できなかった農業者をなくそう!!』

#### 農業者年金 新規加入者状況

12月全国状況 (暫定値)

京都府状況

全国累計 (人)	107,160	平成25年度 京都府累計	18
新規加入者数 全国合計	183 +32	久御山町	5
新規加入者数 第1位	35 北海道	京都市	3
新規加入者数 第2位	15 熊本県	向日市	2
新規加入者数 第3位	11 茨城県	長岡京市	2
新規加入者数 第3位	11 長野県	城陽市	2
新規加入者数 第5位	8 長崎県	京丹後市	2
新規加入者数 第6位	7 京都府	京丹波町	1
		舞鶴市	1

**節税 節税 節税**  
 支払った保険料は全額 社会保険料控除の対象。  
**凄いやばい年金**  
 節税につながる! 所得税や住民税の節税につながる!  
 老後の備えは国民年金プラス 農業者年金が基本です!  
 しっかり積み立て、がっちりサポート 安心して豊かな老後を **農業者年金**  
 終身年金で80歳までの保証付です。

**絶賛発売中**  
 コード 25-38 700円  
 A5判 46頁



加入推進者へのインタビューや、親子や夫婦での加入者の生の声を盛り込みました。  
 農業者年金の加入推進に大きな成果を上げた農業委員会・JAの取組のノウハウ、工夫、知恵が凝縮されています。

### 出版案内

『農業者年金加入推進事例集 vol.6』

全国農業図書